

# 自然観察会 ～桂川の水生昆虫を観察しよう～

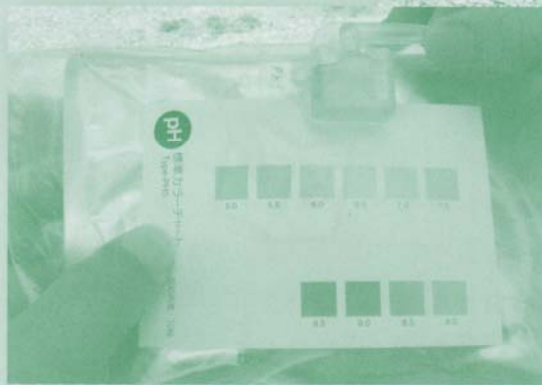


平成18年8月26日 松尾橋西詰河川敷にて

平成18年8月、西京区内の豊かな水と緑の美しさを感じ、そのすばらしさを再発見するための「自然観察会」が、西京区民ふれあい事業実行委員会、西京区30周年記念事業実行委員会の主催により実施されました。

約70名の西京区内のご家族の皆さんが参加されたこの催しに、「環境」をテーマに取り組んでいる西京塾からも、6名の塾生の方々が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、西京塾推進部会の部長である、京都精華大学人文学部環境社会学科助教授の板倉豊氏のご指導により、桂川の水質について簡単な化学反応や水生昆虫の観察により、調査しました。



パックテストという水質分析器具を使って、河川の酸性度を示すpH、有機物の量を示すCODなどを測定しました。工場排水などが流れ込むと酸性度が高くなり、pH値が下がります。工場排水、台所排水、油、し尿などが流れ込んで水が汚れると、COD値が上がります。



どんな水生昆虫がいるかを調べることで、河川の汚染度を知ることができます。さまざまな種類の水生昆虫を発見することができました。板倉氏から、昔は種類が少なかったという話を聞き、水質が改善されてきているといううれしい結果だと知りました。

## 観察された水生昆虫

ヘビトンボ幼虫, スジエビ, トビゲラ幼虫,  
 ヒラタカゲロウ幼虫, サホコカゲロウ幼虫, カワニナ,  
 オニヤンマ幼虫, カジカガエルオタマジャクシ,  
 ウシガエルオタマジャクシ, ゴリ,  
 サナエトンボ(成虫・幼虫), ドンコ, ハエ,  
 プラナリア, コアメンボ, ヒル など



豊かな水と緑を体感できる桂川の水辺で、自分たちの手で河川の水質を調べ、水生昆虫を目にした塾生の皆さん。このかけがえのない自然を守っていきこうと、環境に配慮したまちづくりへの思いを深くされたことでしょう。



## 参加者の感想



水生昆虫は興味がありませんでしたが、「水質調査もします」ということにひかれ、参加しました。思っていたよりきれいな川だと思いました。今まで知らなかった水生昆虫を、桂川でたくさん知り観察できたこともいい経験でした。

福島慧子

松尾橋真下の桂川は「汚い川」だと思っていた。その桂川でタニシ、ヒルを見たが、カワニナを見つけたときには、安心して水浴のできる川に戻りつつあり、この上流でホタルが舞っている話は本当だと思えるようになった。

川村 清

「桂川はきれいになってきている」と言われ透明度は「やや良い」においては「少しする」で平成18年に初めて「ヘビトンボ幼虫」が出たそうですが、水質悪所に生息する「ヌマエビ」もいました。天気にも恵まれ水に入り、おそるおそる石をめぐり幼虫を見つけたときの、ワクワク感も体験しました。どうもありがとうございました。

河合順子

一家そろっての参加も多く、会場には笑顔がいっぱい。説明を受け、網を手に川辺に。一時期のひどい汚染が有志達の努力で元の清流に戻ったことや、水質、水生動物の講和を聞き、自然を守るには実際に体験する必要性を痛感した。

藤井富美江

自然観察会に参加して!とても暑い一日でしたが、網とバケツを持ち川に入り、魚を追っかけていたら先生から石を起こして見るように言われ、起こしてみると色々な小さな虫(ヘビトンボ、スジエビ、カゲロウ)が付いていてビックリしました。桂川もきれいになってきたためにきれいな水に住む虫達が増えてきたことを教えてもらいました。

別府文子

久しぶりに童心に戻り、小さな子ども達と一緒に川に入り、水質調査をしたり、ヘビトンボやオニヤンマの幼虫などを見つけては驚いたり喜んだりしました。きれいになった桂川の自然環境を守り続けていきたいと思いました。

村上梨恵子